

日本SF作家クラブ 50周年記念プロジェクト

SFWJ50通信

VOL.1 ◆ 2013年1月号 ◆ <http://sfwj50.jp/> 大橋博之=文



イベント

日本SF作家クラブと MARUZEN & ジュンク堂書店とのコラボレーション企画 『SFブックミュージアム』開催中



夢枕獏さん。テープカット前、開会の挨拶の様子。

● オープニングセレモニー也大盛況

ただ今、ジュンク堂書店池袋本店にて『SFブックミュージアム』が開催中です。SFの本を展示品に見立て、ミュージアムのように演出してしまおうというコンセプトのSFフェアです。10月6日のオープニングセレモニーでは、MARUZEN & ジュンク堂書店の岡充孝副社長と、日本SF作家クラブ第8代会長の夢枕獏さんと第12代会長の山田正紀さんによるテープカットが行なわれました。「池袋ジュンク堂のSFブックミュージアムのテープカットを夢枕さんと一緒にやらせていただくことになった。名誉なことである。日にちを確認しておかなきゃ。もっと恐ろしいのはついさっきまでテープカットがケーキカットに脳内変換されてたことで……夢枕さんと一緒にケーキカットしてどうすんだ！」という山田さんのツイートに、「じゃ、本当にケーキカットしていただきましょう」と、本物のケーキが登場。こちららめでたく二人の最初の共同作業(?)となりました。その後は現会長の瀬名秀明さんによるトークイベントも開催。大盛況の中、『SFブックミュージアム』はスタートしました。2013年4月30日までやっています。

詳しくは「SFブックミュージアム」のWebページ <http://sfwj50.jp/sfbm/> まで。



● 12月のトークイベント

12月の『SFブックミュージアム』トークイベントを、21日(金)午後7時30分から、ジュンク堂書店池袋本店4Fのカフェにおいて行ないます(要予約。ドリンク付き¥1,000)。第12代会長の山田正紀さんと、2012年に入会したばかりの宮内悠介さんが、日本SF作家クラブとSFの魅力について語ります。「想像できないことを想像したい」という山田さんの名言と、海外放浪体験というおふたりの共通体験を軸に、SFの無限の可能性について盛り上がること間違いナシです。司会は東京創元社・編集者、小浜徹也さんが務めます。お問い合わせは、ジュンク堂書店池袋本店(Tel: 03-5956-6111)まで。



山田正紀さん(左)と宮内悠介さん。

● 「作家書店 Petit」が高野史緒さんからスタート

『SFブックミュージアム』に新しいコーナーが加わります。その名も「作家書店 Petit」。「SF作家はどんな本で出来ている?」をテーマに、4人の作家がひとり30点ほどの本をチョイス。さて、どんなタイトルが並ぶのか? 興味津々です。スタートを切るのには、『カラマーゾフの妹』で第58回江戸川乱歩賞を受賞した高野史緒さん。2012年12月1日~2013年1月31日までの期間限定ですよ。

おしらせ

日本SF作家クラブ50周年記念プラネタリウム番組
未来はボくらがつくるんだ! ~22世紀のものがたり~

● 2013年4月より鹿児島市立科学館にて放映

いつの時代でも、子どもたちは未来に夢を持っていきます。未来への展望が見えないといわれる現代、いまの世代が新たな「未来の22世紀」を想像し描くことによって子どもたちの「想像する力」を育て、それを「創造する力」につなげるきっかけにしようということで、このプラネタリウム番組は構想されました。

日本SF作家クラブ50周年記念番組であると同時に、鹿児島市立科学館の展示リニューアル記念番組として、この作品は2013年4月からプラネタリウムで放映されます。番組制作はプラネタリウムメーカーとして有名な五藤光学研究所。

● 物語は22世紀

舞台は100年後の日本。ノゾミくんとユメちゃんが、月面で暮らすひいひいおばあちゃんの100歳の誕生日を祝うために、小さな冒険の旅に出かけます。日本SF作家クラブの会員が想像した22世紀の世界が、プラネタリウムドームいっぱいにデジタル映像で描きだされます。さらに日本SF作家クラブの生生物語や、現在のSF作家クラブ会員から子どもたちへのメッセージを紹介。SFファン必見の内容となっています。

番組テーマ「未来を想像する力を育てよう」

【放映期間】鹿児島市立科学館にて2013年4月1日より6月30日まで(以降全国のプラネタリウム館にて順次公開予定)。

【スタッフ】ストーリー原案:新井素子、井口健二、門倉純一、久美沙織、鹿野司、東野司、片理誠、増田まもる/キャラクター原案:萩尾望都/メカニカルデザイン:加藤直之/SF考証:鹿野司/企画:鹿児島市立科学館/協賛:清水建設株式会社/協力:日本SF作家クラブ/制作:株式会社五藤光学研究所

● キャスティングが決定

ナレーター:春風亭柳朝/ノゾミ:宮田幸季/ユメ:池澤春菜/ピッピー:ゆきじ/ケーキ店の女性店長:恒松あゆみという顔合わせ。〈SFマガジン〉にも連載を持ち、SF者として知られる池澤春菜さんが参加していることにご注目ください。

録音は10月19日(金)にSCアライアンスAスタジオにて行なわれました。まず、午前はナレーションパートから。落語家の春風亭柳朝さんのユーモラスで温かみのある語り口が絶妙です。そして、午後はドラマパート。軽いりハーサルからすでに4人の呼吸はピッタリ。「ええっ~もう完璧じゃないですか。これでOKでしょ」とびっくり。さすがプロの声優さんは違うとただただ感心。音響施設のいいところでラジオドラマを聴いている感じでちょっと得した気分。トラブルもなく無事に終了。しかし、制作の現場はここからがタイヘン。声にあわせてCGで場面を作っていくのです。完成が待ち遠しい限りです。



左から、ユメ:池澤春菜さん/ノゾミ:宮田幸季さん/新井素子さん/ピッピー:ゆきじさん/ケーキ店の女性店長:恒松あゆみさん

日本SF作家クラブは、SF & ファンタジーの普及および発展に寄与することを目的として、1963年に設立された親睦団体です。2013年は50周年となります。「SFWJ50」は50周年記念プロジェクトです。

- ・日本SF作家クラブ <http://www.sfwj.or.jp/>
- ・50周年公式サイト <http://sfwj50.jp/>
- ・twitter @sfwj